

令和6年度(2024年度) 朝霞市水道事業・下水道事業会計決算概要

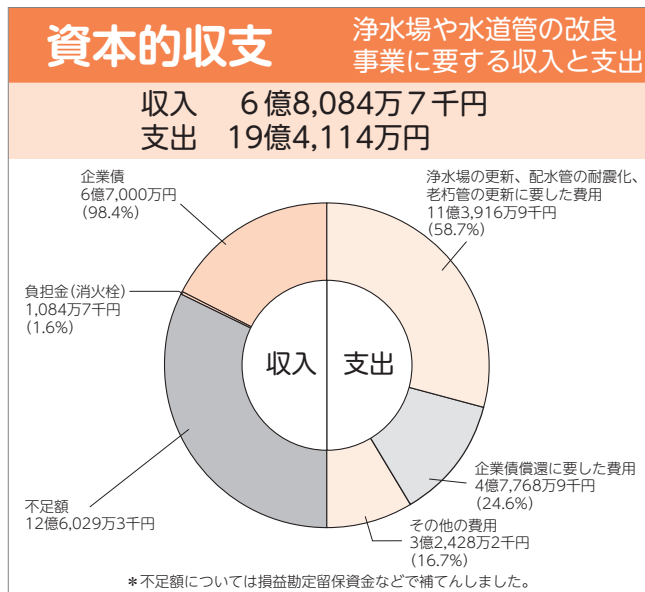
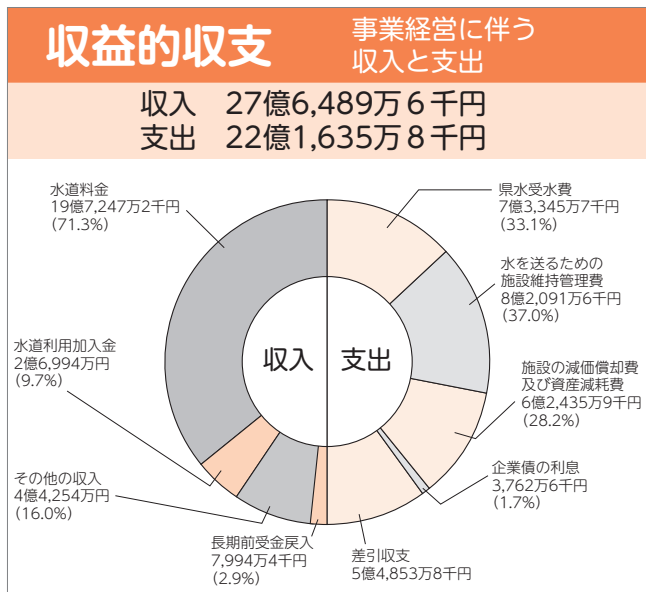
問／上下水道総務課 ☎462-3366

● 水道事業会計

水道事業は独立採算制で運営しており、事業に必要な費用は、皆さんからいただく水道料金などの収入によって賄われています。

浄水場や水道管の更新工事として、令和6年度は、泉水・岡浄水場電気設備他更新工事のほか、水道施設耐震化事業や老朽管更新事業などを実施しました。

市内の水道管は、宅地化が急速に進んだ昭和40～50年代に敷設されたものが多くあります。水道管の耐震化や更新工事を計画的に行い、皆さんに安全で安心な水道水をお届けできるよう、健全な事業経営に努めてまいります。



● 下水道事業会計

下水道事業は「雨水公費・汚水私費の原則」により運営されており、雨水処理費は税金(公費)で、汚水処理費は、皆さんからいただく下水道使用料などの収入(私費)によって賄われています。

下水道施設に関する工事として、令和6年度は、浸水被害を軽減させるため、溝沼地区の整備計画に位置付けた調整池の工事を令和5年度に引き続き実施しました。

また、下水道施設の適切な維持管理や、今後、需要の増大する下水道管の更新には多額の費用がかかることから、財源の確保が課題となっています。

